

# 今後10年間のまちづくり計画～

# の策定を進めています

## 総合計画とは

総合計画は、市が目指すまちづくりの方向やそれを表現するための方法などを定めた長期計画であり、すべての計画の基本となるものです。

市にはさまざまな計画があり、まちづくりに関する活動を行っています。すべてこの総合計画に沿って実施されています。

総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画の3層構造（下記参照）になっており、基本構想に沿って取り組む具体的な施策や事務事業を掲載する基本計画・実施計画を加えたものとなります。

## 総合計画では

第6次芦別市総合計画では、将来にわたって持続可能な魅力ある

芦別市では、令和2年度からスタートし今後10年間の新たなまちづくり計画となる「第6次芦別市総合計画」の策定に向け取り組んでいます。総合計画は、芦別市まちづくり基本条例に基づき、「目指すまちの将来像」を定める本市の最上位の計画として位置付けており、「情報共有」と「市民参加と協働」を基本に策定作業を進めています。

## 【総合計画の構成】

### 基本構想 (10年)

まちづくりの基本理念や方向性を示すもので、目指すまちの将来像・まちづくりの基本目標を掲げています

### 基本計画 (10年)

基本構想で定めた目指すまちの将来像などを実現するため、推進すべき施策の内容を定めています

### 実施計画 (3年※毎年更新)

基本計画に定めた推進すべき施策により実施する具体的な事例を定めています

まちにするため、目指すまちの将来像を『みんなで築く 豊かで住みよい 人と文化が輝くまち』と定め、総合的かつ計画的にまちづくりを進める計画として、「芦別市まちづくり基本条例に基づく最上

位計画」、「目標達成に向け点検・評価し改善する計画」、「協働によるまちづくりを目指す計画」、「将来人口を見据えた計画」の4つの特徴を掲げ取り組むこととしています。

～目指すまちの将来像を定める

# 第6次芦別市総合計画

## 計画づくりでは

計画を策定するにあたっては、市民の皆さんの意見を反映させた計画とするため、昨年11月にまちづくり市民アンケートを実施したほか、4月23日から6月4日までにおいて、市内10会場でまちづくり懇談会を開催して計画策定の考え方などを説明し、さまざまな意見をお聴きしました。

現在、各種団体の代表者、公募による市民の方など20名の委員で構成される芦別市総合計画審議会を設置して、総合計画（第1次素案）の審議を行っており、今後は、意見公募（パブリックコメント）なども実施し、市民の皆さんにさまざまな形で計画づくりに参加いただき、広く意見を求めたうえで計画への反映に努めます。

## 総合計画の 策定スケジュール

【6月～9月】

■芦別市総合計画審議会の設置・審議

審議会とは、総合計画の原案を審議するため、市の条例で定められた機関となります。

去る6月6日（木）に第1回目の審議会を開催し、荻原市長から嶋大輔会長（芦別市体育協会推薦）へ、総合計画（第1次素案）の諮問が行われた後、星の降る里あしべつ応援大使である龍谷大学政策学部の土山希美枝教授から、『人口縮小社会の自治体と総合計画』と題して講演をいただき、引き続き審議が行われました。

審議会は合計で4回の開催を予定しており、最終的に全体で意見を集約し取りまとめ、会長から市長へ答申することとなります。

■意見公募（パブリックコメント）の実施

意見公募（パブリックコメント）とは、総合計画審議会からの答申をもとに調整した総合計画（第2次素案）を、市民の皆さんに見ていただき意見を公募するものです。

意見公募でいただいた意見は、総合計画（第2次素案）に反映させるべきかを検討したうえで、議会に提案します。

総合計画（第2次素案）は、市の公式ホームページや市内各施設で見られるようになります。

【10月】

■総合計画原案を市議会へ提案

【12月】

■総合計画の決定

【令和2年4月】

■第6次芦別市総合計画のスタート



第1回第6次芦別市総合計画審議会において、荻原市長から嶋大輔会長へ諮問



# まちづくり市民アンケート調査の結果をお知らせします



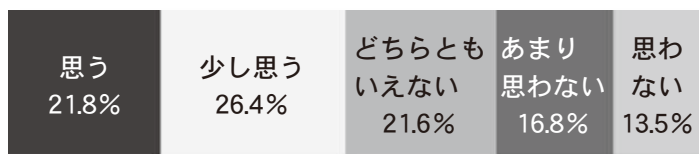
アンケート調査は、市民の皆さんが本市をどのように認識・評価し、まちづくりの可能性や方向性を考えているのかを把握するために実施しました。

アンケート調査の結果や出された意見については、第6次芦別市総合計画に反映されるよう策定作業を進めています。

今回は、市民アンケート調査の中から、調査結果の一部をお知らせします。  
(市民アンケート調査、高校生・専門学校生アンケート調査の結果については、市ホームページでご覧になれます。)

- 調査の対象／芦別市住民基本台帳から無作為に抽出した19歳以上の男女
- 対象者数／1,000人
- 回答者数／394人
- 回答率／39.4%

## ●芦別市の住みやすさ

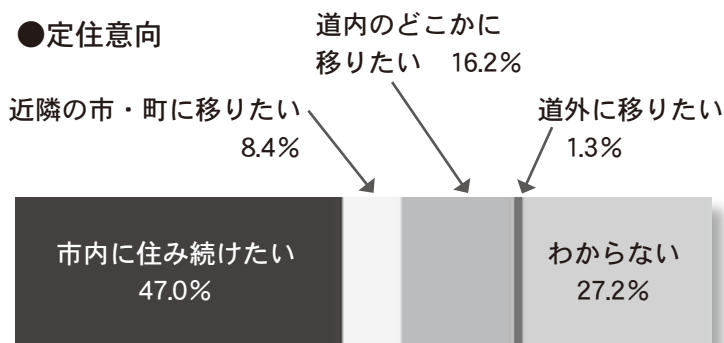


本市の住みやすさを調査した結果、「思う」と「少し思う」を合わせて48.2%の市民が回答しています。

## ●「性別」でみる施策の満足度

性別		第1位	第2位	第3位
満足	男性	循環型社会	道路	緑地環境
	女性	循環型社会	道路	住環境
不満	男性	市街地活性化	医療体制	雇用環境
	女性	医療体制	除雪体制	市街地活性化

## ●定住意向



「これからも本市に住み続けたいか」との質問に47.0%の市民は「市内に住み続けたい」と回答しています。

## ●「年齢別」でみる優先すべき住民サービス

年代	第1位	第2位	第3位
30歳未満	医療体制・施設の充実	除排雪体制の強化	観光・各種イベントの振興
30～40歳未満	医療体制・施設の充実	除排雪体制の強化	企業の誘致
40～50歳未満	医療体制・施設の充実	除排雪体制の強化	企業の誘致
50～60歳未満	医療体制・施設の充実	老人福祉対策の充実	除排雪体制の強化
60～70歳未満	医療体制・施設の充実	除排雪体制の強化	老人福祉対策の充実
70歳以上	医療体制・施設の充実	企業の誘致	除排雪体制の強化

●問い合わせ まちづくり推進係